2025年 6月 吉日

需要家 各位

湘南生コンクリート協同組合

暑中期における生コンクリートの納入について

近年、都市部ではヒートアイランド現象等の影響による顕著な気温の上昇により最高気温が35℃以上となる猛暑日や熱帯夜が多くなり、生コン工場で貯蔵している原材料の温度が下がらず製造時のコンクリート温度が35℃近くになることが多くなっています。さらに、運搬中および待機時間における直射日光などの影響を受け、コンクリート温度が上昇し現場荷卸し時のコンクリート温度が35℃を超える可能性が高くなっています。

弊協組組合員工場においても何らかの暑中コンクリート対策は実施しておりますが、決定的な対策がなく気温の上昇に伴うコンクリート温度を制御することはとても困難な状況にあります。

そこで、社内規格におけるコンクリート温度の上限値を35℃から38℃に改定し、JIS登録認証機関の承認を得ており、荷卸し時のコンクリート温度が38℃以下であれば、JIS規格上問題がない体制を整えています。

また、建築および土木分野における暑中コンクリートの施工指針の改定・制定によりコンクリートの種類・配合および施工において、コンクリートの性能が低下しないような暑中対策を講じることにより受入時のコンクリート温度の上限値を38℃にすることが可能となっています。

このような情勢の中、納入現場で受入基準を「35℃以下」とされている場合、工場はJIS規格適合品として品質に問題のない生コンクリートを出荷しても、現場の基準によって受入れを拒否されることになります。

受入れ時のコンクリート温度を35℃以下に指定され、現場受入検査においてコンクリート温度のみ不適合が発生した場合には、お客様都合による戻りコンとして取り扱い、商品代および取消料をご負担いただくことをご了承いただきたくお願いいたします。

猛暑日が増加傾向にあり前述の状況が発生する可能性が高いことから、暑中期における生コンクリートの納入に関しまして是非ともご理解、ご協力をお願いいたします。

以上